

明治七年甲戌中



黒川孝昌編輯

# 萬國名所往來

官許 大澤堂藏版



575

## 萬國名所往來序

今也文學大ふむるも國勢盛ふて天下普時

東の萬國睦び往來繁花日小益月小榮ふ

各國の地名とさ(知らで過人ハ實小

本意なき心地ふる人有るふ于茲萬國名所の

大澤堂藏



其國名所存牙

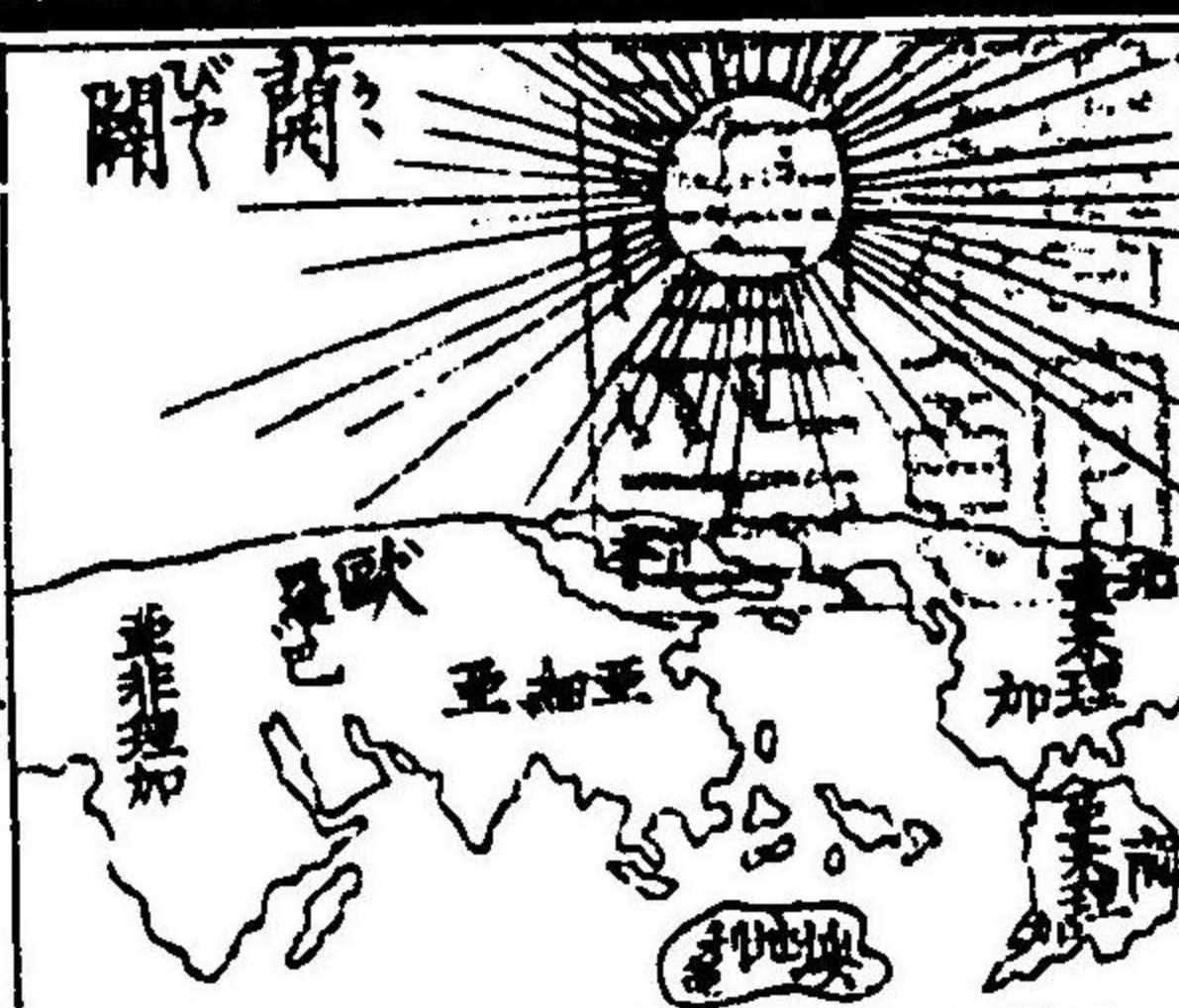
文章有是兒女童蒙初學の近路して世

界の地勢形情を知るの便ありしむ此冊文と

閣記き事を得世界万国自胸中亦有が如實

小之人倫胎中の担真影くも可謂りのあり

松吟堂誌



天地の間に開け  
混沌の時澄み  
のかりて天と  
混るもの濁り  
まりを状貌の印  
ぬ一印皮ハ初天

黒川孝昌編輯

万国名所往來

天高くいで日月耀地ハ堅く

して世界普廣一今也文明開

化の時浪と静き兒太平洋西



万国名所往來

女童蒙初學の近路として世

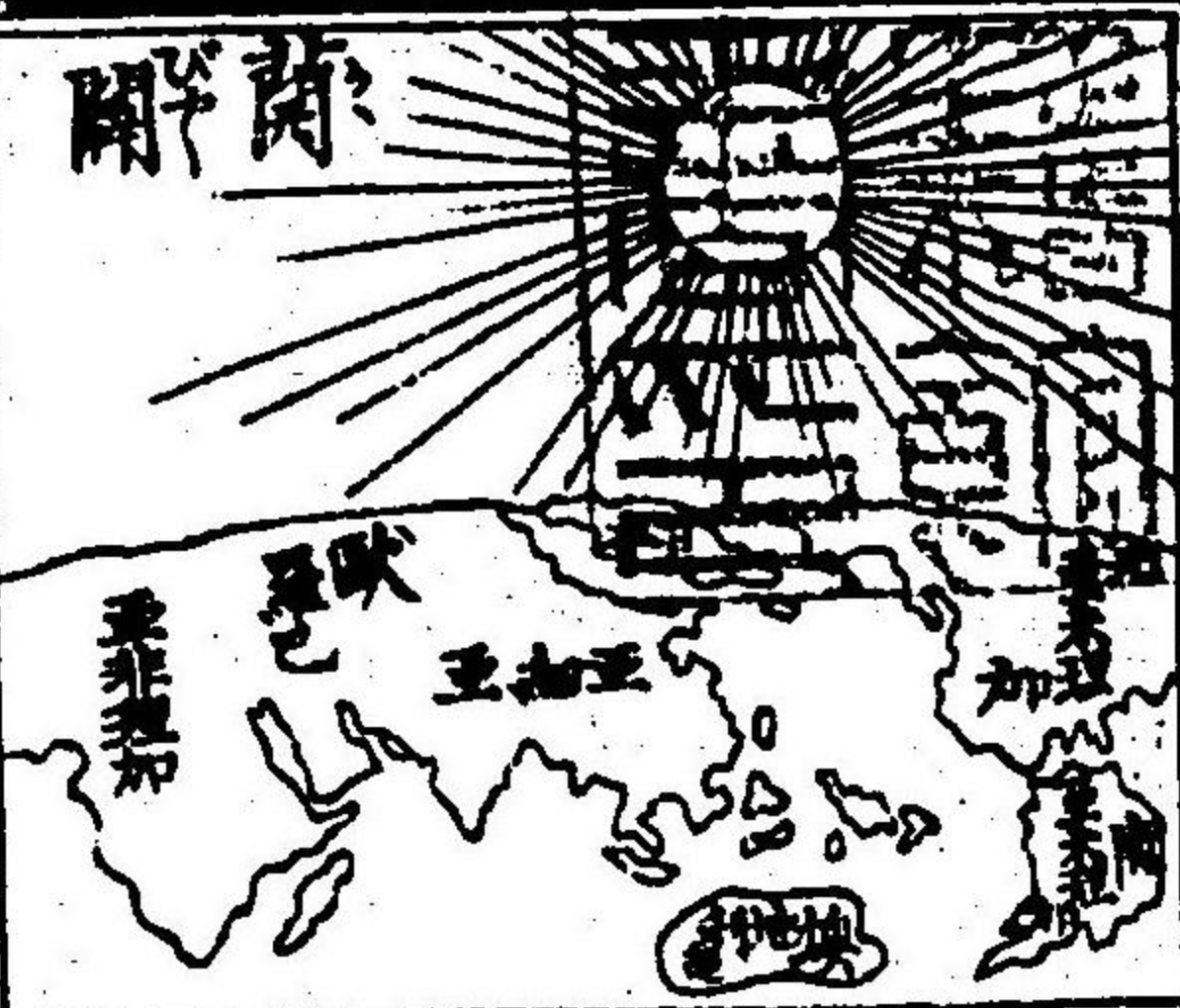
と知るの便ありしむ此冊文と

世界万国自胸中所有が如實

影も可謂りのあり

松吟堂誌

東洋書局



天地をめぐり廻れば  
混沌の時運の  
のかりて天と地と  
混沌の時の運の  
のかりて天と地と  
のかりて天と地と  
のかりて天と地と

黒川孝昌編輯

万国名所往來

天高くいで日月耀地ハ堅く

して世界普廣一今也文明開

化の時浪と静まり太平洋西



譬黃實ハ地ありて  
中央ふとまきりて  
行ありび白雲の  
とろ室氣西して天  
地ふ頂て後万物と  
とあり又開闢の初  
ハ陸陽の二氣混合  
して雲凝まるるが也  
ハ小人倫及び一切の  
業皆ハ小至まう

洋東洋一般小通航自在自由  
と得大千世界五大州其國々  
の名どころ汝空しく知ら傳  
在べらんや怠塵万國小賑ハ  
る都々の數々の先東方小苗



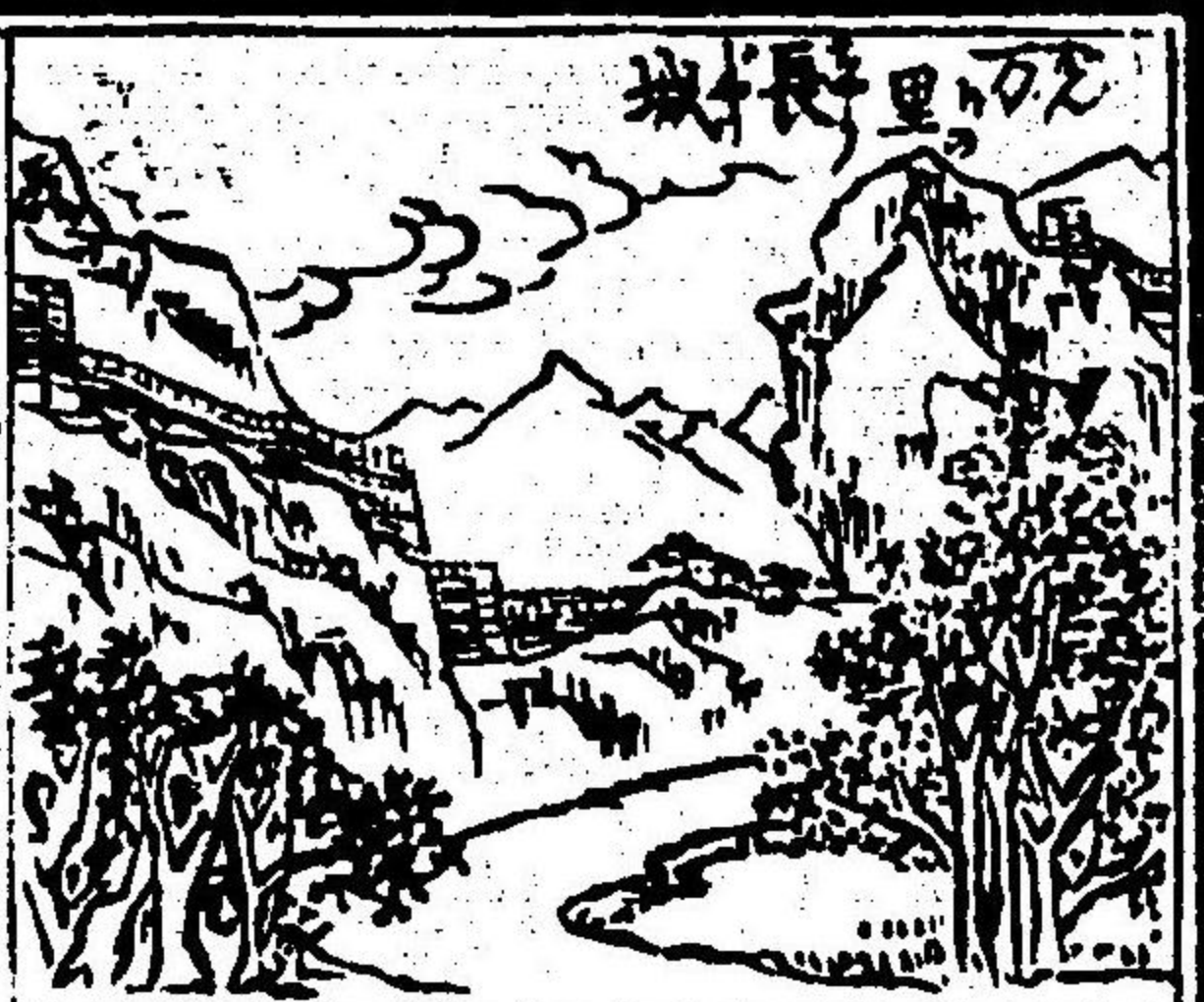
○日本八帝國ありて  
古來國中六十余州  
あり今五畿七道の内  
奥羽を分て陸奥陸  
中陸奥羽赤松後と  
北海道渡清後志

きハ初日のりくの日本國東  
京西京大阪と三つの都と唱  
あり北の堺ハ蝦夷樺太南小  
関きハ横濱ハ諸州の商船入  
津小湊小ぎらふ交易場辨天



石狩天塩北見膽振日高十勝釧路根室千島の十  
一國と加へて五畿八道八十四州とす。  
富士ハ日本の名山  
くまざり千四百七丈  
絶頂ハ四時冰雪は  
づれより登ると山麓更  
かゞ比ノ江州琵琶湖ハ日  
本美景の地なり

通り港崎町是繁盛の街な  
里西小肥前の長寄ハ三百餘  
年の昔より支那和蘭の二國  
小通商久しき所なり並ぶ薩  
摩のふし南沖繩嶋の琉球國



○支那ハ時の帝王  
ひよつて國号と改  
也往古ハ漢と云又  
唐ともいへハ共ハ  
昔代の國号と今ハ  
清の代よりハ清朝

首里の都ぞ賑りき聞  
るし黄河の海支那ハ亞細  
亞の一大國都ハ北京順天府  
南京廣東天津ハ並ぶる  
き繁花の地珠江の船居めづ



昔又清國と云ふは  
 今清帝の大祖元業古  
 の人の衣清朝のつて  
 里てより支那の古風と  
 改めし妙も小冊の  
 頭毛と剃頂上の一朱の  
 毛と幾一是を挿て後  
 垂と一盤の風とせす  
 女の髪と結多く釵子  
 とて飾とせしるる  
 香港江ハ支那古

らしく上海寧波福建の  
 門厦門香港江いづれも交易  
 廣大のきふ余國ふとぐし  
 あし支那海をるうふ東の  
 うらむふもる。臺灣國廣東



來京の終幼帝入  
 水の古戰場あり  
 ○滿州ハ支那のつ  
 き地めて清國の組  
 敷代居城せしるる  
 よつて今清朝のゆ

近き一嶋ハ瓊州國の邊鄙の  
 地と東方遙小隔り地  
 の國ハ滿州とて都者ぶまた  
 奉天府支那清朝の本國とぞ  
 其とあり地ハ朝鮮國昔ハ三



○朝鮮の滿州と云ふ  
 田中は道一対する  
 海上より約十二里余  
 市中家屋のあり大  
 うへ支那の俗に衣  
 後より俗の古風と云  
 ふるは地人冬と着物  
 のカ一匹又水牛あり  
 は南と云ふ日か(海)  
 朝鮮雜考甲と云ふ

韓後小又高麗國とも稱せり  
 都城ハ國の中央にて京  
 畿道の名も志るき北小あり  
 れる。蒙古の地ハ砂碛の廣原  
 かぎりあるく戈壁の沙漠と号



外蒙  
 蒙古ハ支那の北  
 小續きくる地あり  
 外蒙古の中央克刺  
 呼尔羅と云ふハ支  
 那元の代の祖成  
 吉思汗と云ふの

より原の東ハ内蒙古爰り  
 繁花の、多倫諾爾府ハ交  
 易盛んの都あり沙漠の  
 北々外蒙古是小ほきて  
 買賣城隣國界小程近



城あはく年七十  
みて歿す成吉思  
汗の妻妾五百  
人小召ぶとふた  
おとの子孫甚多  
しとつ



新疆國名小高き崑崙  
山の南めてまはれ都  
葉尔羌又和闐の城地と  
るるれ 靈山名區は。西藏  
ハ世界一なる喜馬拉山の

○西藏の地ハ如て  
多く海面より千二百  
丈余有日本の富  
士山の頂上の高さハ  
同し此西藏の平  
地より國人過半ハ  
僧侶之を臣と法王と  
云て國中皆尊敬す  
るなり又はハ兄弟  
數人して一人の婦と聚  
共の妻とを習也

其半腹の高地めて靈跡尊き  
國とらや山路も遠き。西比利  
亞ハ多きて繁花の徳波爾  
斯科其外都交易場多  
木斯科、隔亞多義爾古斯科





○西北利亞ハ並ニ  
 大國ナリ多木  
 斯科ノ山中ニハ諸  
 獸生カスルヲ見ヒ  
 又聆廢トシテあり  
 大沙漠トシ砂地ノ廣

汲く知る人貝加爾湖ハ亞  
 細亞無双の湖あり陸を隔る  
 東の海へ突出の地ハ  
 亞細亞のそとの堪察加都と  
 彼得羅爾斯科國の境の大

原有は東の内ハ  
 小谷と信天幕と  
 帳とれて風雨と  
 羊豕と飼て業を  
 者多し是と遊牧の  
 野民と云ハテ古  
 夕群の沙漠やむ  
 帳幕居の島ハ  
 赤外蒙古の島中  
 貝加爾湖ハ地ハ  
 名有る湖あり

流水黒龍江の連濤小。新  
 西比利亞の嶋山ハ電雪深き  
 寒國あり北ハ北極北氷海  
 印度ハ是小裏表南の方北  
 暖國也先後印度の地方也





○安南ハ後印支の  
肉より支那より  
産物ハ銀鉄砂糖又  
肉桂皮ハ人文章  
物賦と好む衣冠ハ  
皆支那往古の風と

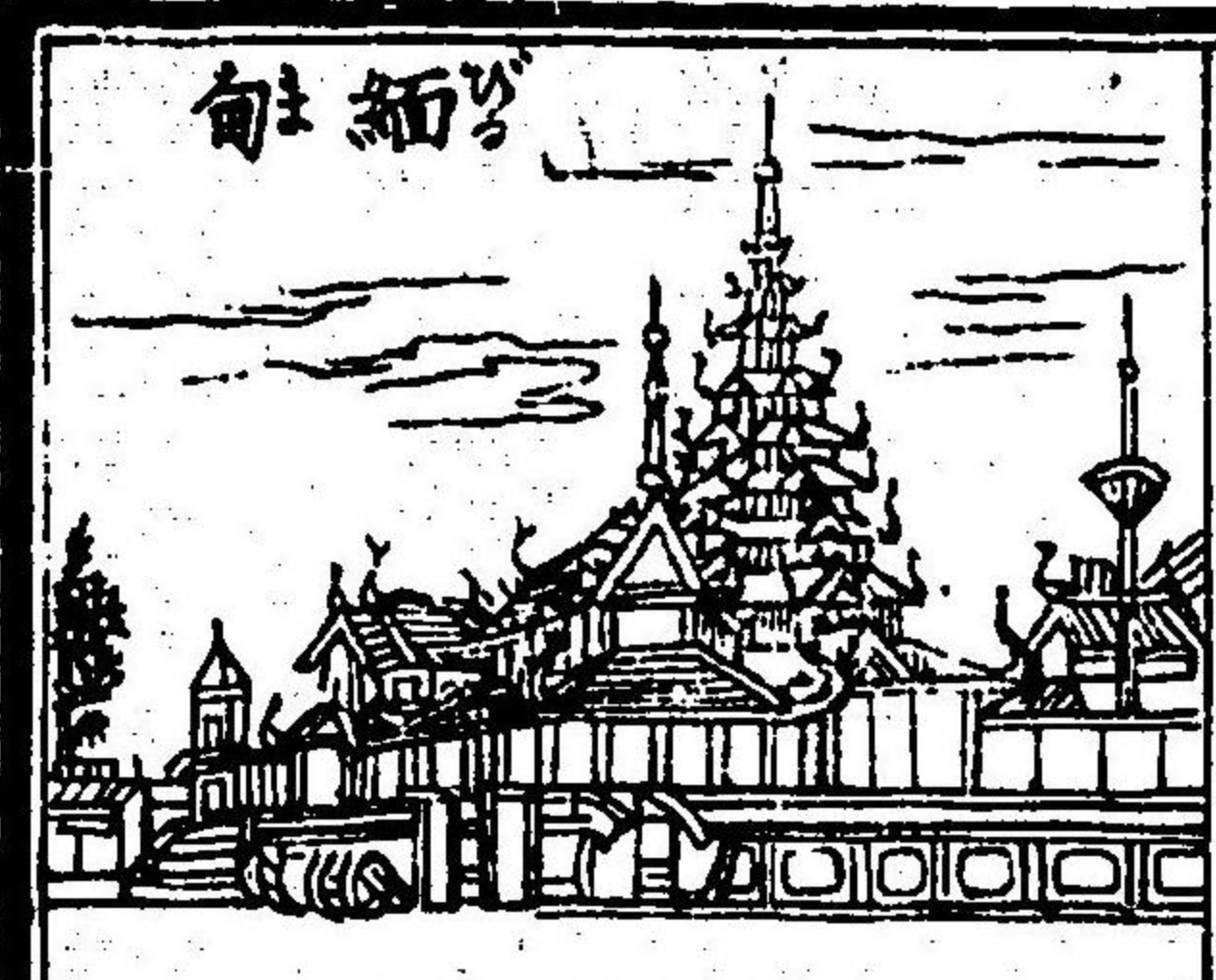
安南國と聞へハ支那前  
代の昔よりまけて親しき國  
小して支那上代の風俗ハ今  
安南小残りたり北の都ハ東  
京とて往來賑ひ繁花の地

南の方ハ東蒲寨  
東蒲寨ハ今日本ハ  
元ハ比より  
種よりハハハハ  
東蒲寨唐若  
ハハハハハ  
○暹羅國今俗ハ  
ハハハハハ  
是ハ昔此暹羅國  
より渡りしハ

南の方ハ東蒲寨耽依威  
王居の都より隣地小  
瀾滄河印度ハ名ある大河の  
西暹羅の都ハ曼谷群峯  
山嶽いと多き。老撾ハ南



よつて暹羅と云来  
りて後傳言て世俗小  
志やもと云又此國熱  
國なる男女共半身  
ありて裸體と云  
と常の事とい



馬刺加あり隣國及び此國ハ  
世小はるまゝとて大象の生むる  
事此夥し新嘉坡小交易  
の貨物も象ゆて運ぶとくや  
山のあまゝい。緬甸國都と呼で

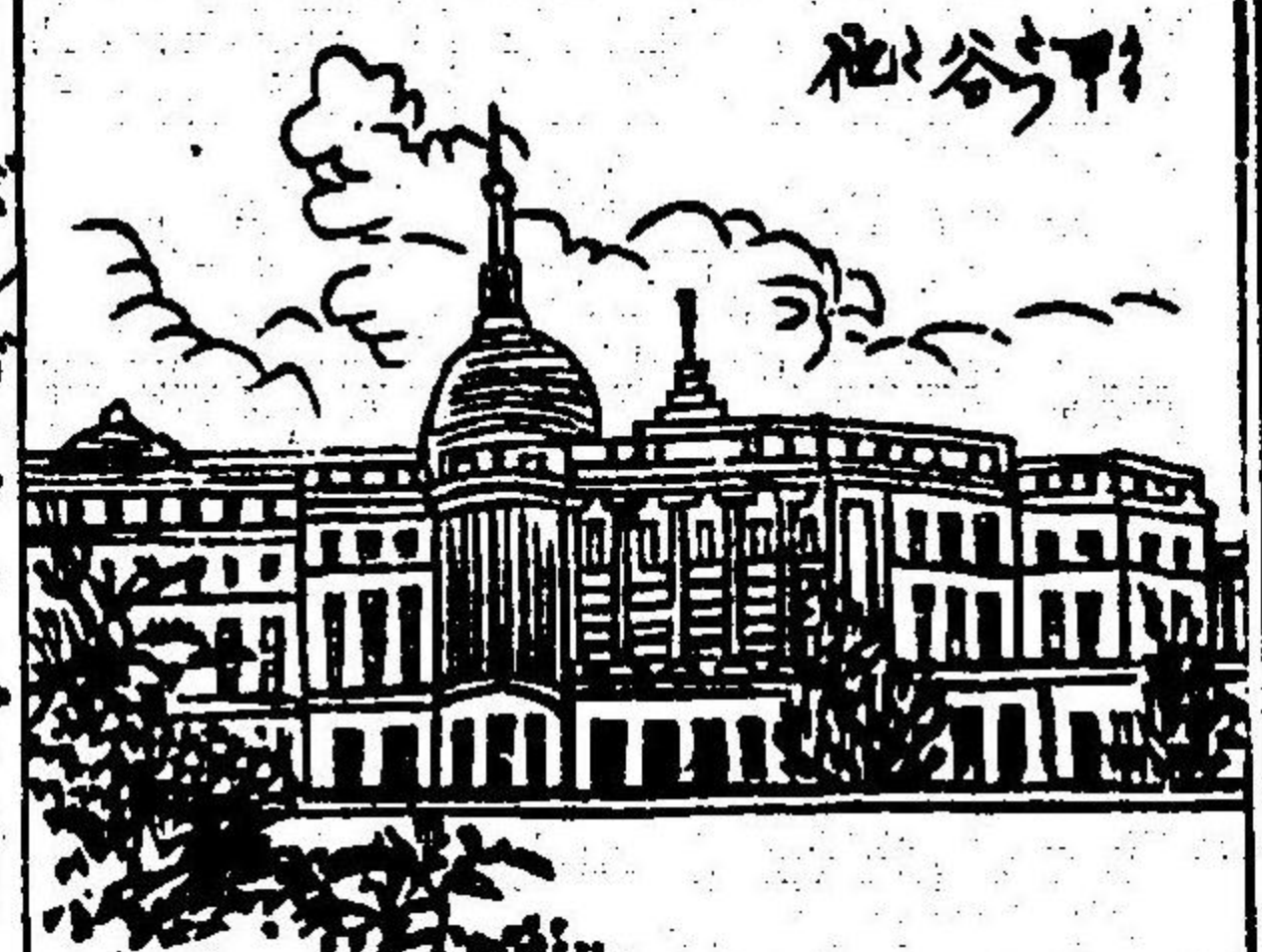
○緬甸ハ風俗甚早  
劣おして復月男女  
とも裸體と常  
尾籠なる姿と取  
こととて尤炎暑  
甚しき土地と云  
きも何れへ  
○前印度ハ國中  
山多し佛蘭西人ハ  
マウテンデリトリイ  
と云く是ハ山多き

慢携遼連國のづも熱地小  
て多くハ裸體の習風あり龍  
沙と人も能く知れる天竺  
國と唱へし今前印度と  
稱するあり都ハ名小あふ



地くよるん此地小  
 映例西多とる山  
 あり高さ二千九百丈  
 無類の高山也前  
 印度の産物多き  
 世界第一と云又極熱  
 の地を故山中小虎豹  
 犀象獅子其外諸  
 獸を産する多  
 日本小有孔雀鸚鵡  
 といふ此地を出る

温都斯坦世界無双の豊饒の  
 土地國産繁盛夥しく東小  
 胡莫倫賑ハ一き都小はぐく  
 徳于ハ亜細亞小一の交易場  
 内海望む一都地ハ是孟加



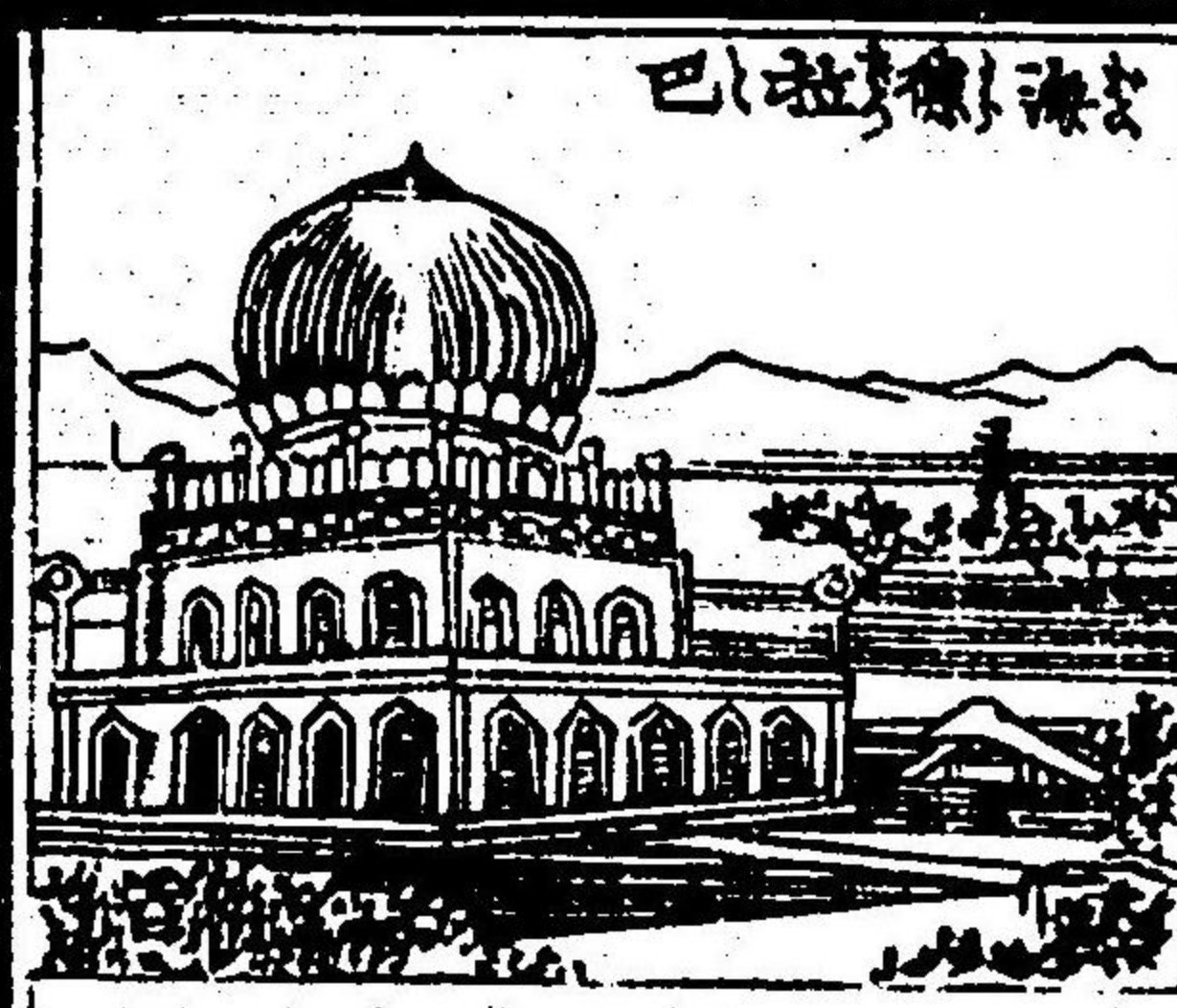
○孟加拉赤色の  
 貝の俗名ベムカ  
 之の此地より出  
 るの多く本名孟加  
 拉なり  
 ○暹羅府ハ世古莫

拉の都めて甲谷他とて唱ふ  
 るより隣地小競ふ暹離  
 府風習同ト馬塔刺州  
 の都ハ實めも大都奪、阿  
 谷都府の繁昌ふつぐ孟買

高麗名ハ在来



卧爾王の都せし  
所今甚衆微  
雖昔の宮殿  
矢火のこれの  
代の墳墓等壯麗  
今猶存せり

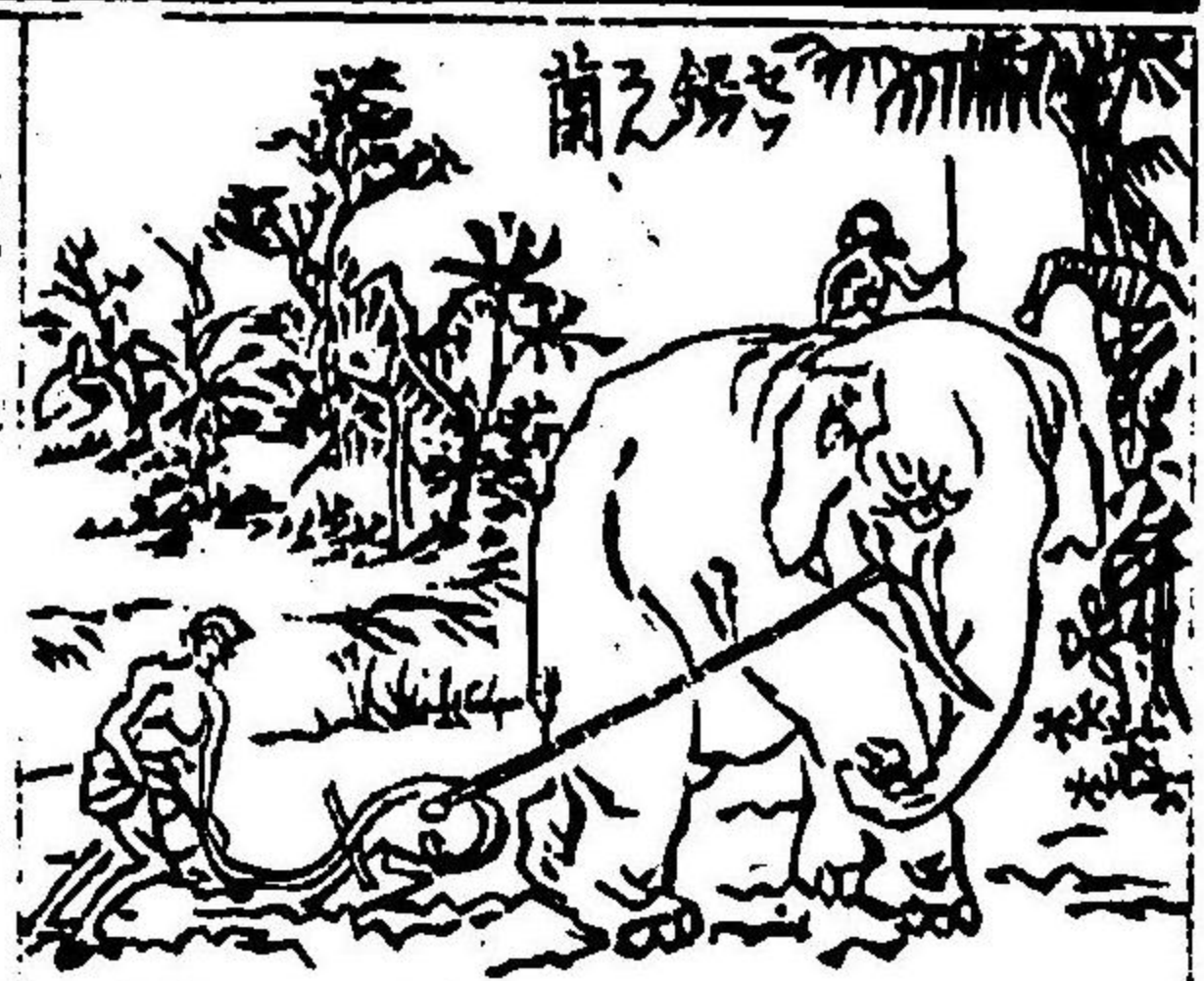


其首府也又孟買と号く  
外ハ馬刺他、密傘の府何  
おとと繁花の地ちりき  
堺の尼棄ハ内地と許多  
領もとと其都府ハ海

○尼棄ハ都府と  
海德拉巴と号け  
佳廉の庭園多  
市中又繁盛  
○克什米爾ハ喜馬  
拉の連峰兀起ニ  
泊爾も又喜馬拉の  
中ハ有、不丹ハ尼泊爾  
東中同山ハ有土人  
深山の内ハ在て風俗常  
の印度人ハ甚異

德拉巴庭園美事ハ市街  
も賑ひさる所とや稍  
西北ハ程遠き。克什米爾の  
一部の外、彼喜馬拉の山中  
不丹或ハ。尼泊爾是獨





○錫蘭此嶋也  
 錫蘭此嶋也。又峽中直珠  
 多。又峽中直珠多。又峽中直珠多。  
 生むる事夥一  
 亞加業坦の布拉  
 府ハ交易殊不繁盛  
 の事ハ國昔ハ兵強

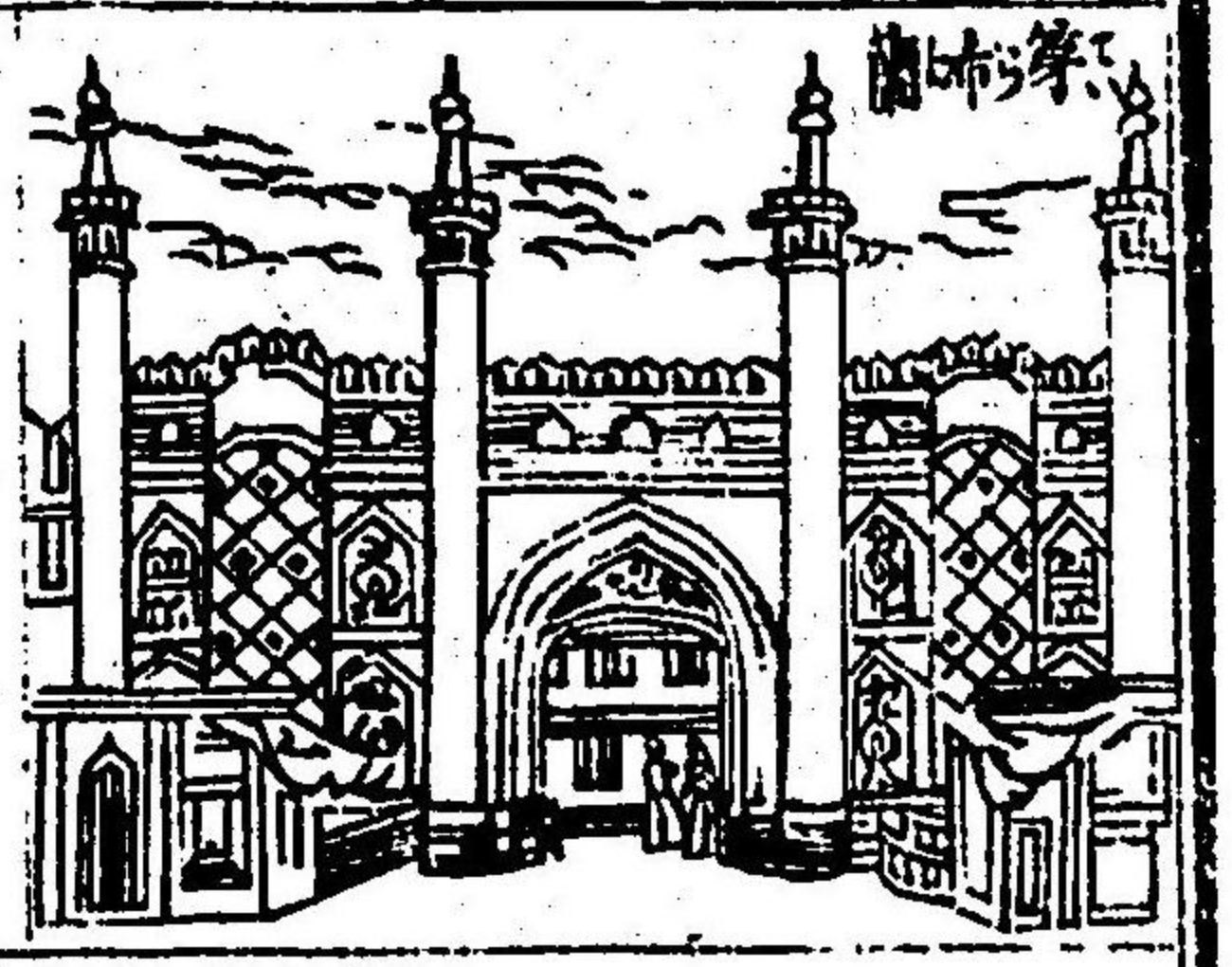
立のり小國こくより里り數大おほ允百  
 二十里。錫蘭嶋じまと聞きこハハ  
 印度の南海中ハ突出とつしゅつハハ  
 地方ちうほうハて群峯ぐんぱう靈山れいざんハと多おほく  
 嶋の都ハ可倫破府かろんぱふ經かへりハハ

くして隣國及比耳  
 西土耳其斯坦印度  
 の西等と平定せし  
 程ハ一して内亂ハ  
 夫より成物ハ  
 ろく又りハ一小國  
 ○皮路直坦ハ甚光  
 甚なるありハ  
 尤盛なりハ地中  
 遊牧の野民多

昔釋尊しやくそんハハハ教修けうしゆの旧跡きうせき  
 として佛堂寺院ぶつどうじやういん歷然れきぜんハハ流  
 水早みなはやき印度河いन्द河の西しハ續つづて  
 亞加業坦あかぎやたん、羗台爾じやうたいに、加布かふ  
 利、希拉府しいらふ是此所こゝの三府也



○比耳西亞の地、東  
 の方次第、亦もく曠  
 く、砂漠あり、炎  
 暑甚し、國も  
 盛復み、これ、國王  
 士民、近隣、  
 暑を避け、暑中、  
 國內人、甚少、爰  
 小義斯巴恒の古城  
 あり、前、  
 垣より、没入の時、  
 火



小かり、其時、  
 而今猶、  
 其後都、  
 蘭小移、  
 恒ハ廢、  
 塔の、

隣邦則。皮路直坦都ハ基  
 拉爰も亦余國小お  
 繁花あり、兩部も、  
 比耳西亞の都、  
 王城壯觀善美、  
 國人

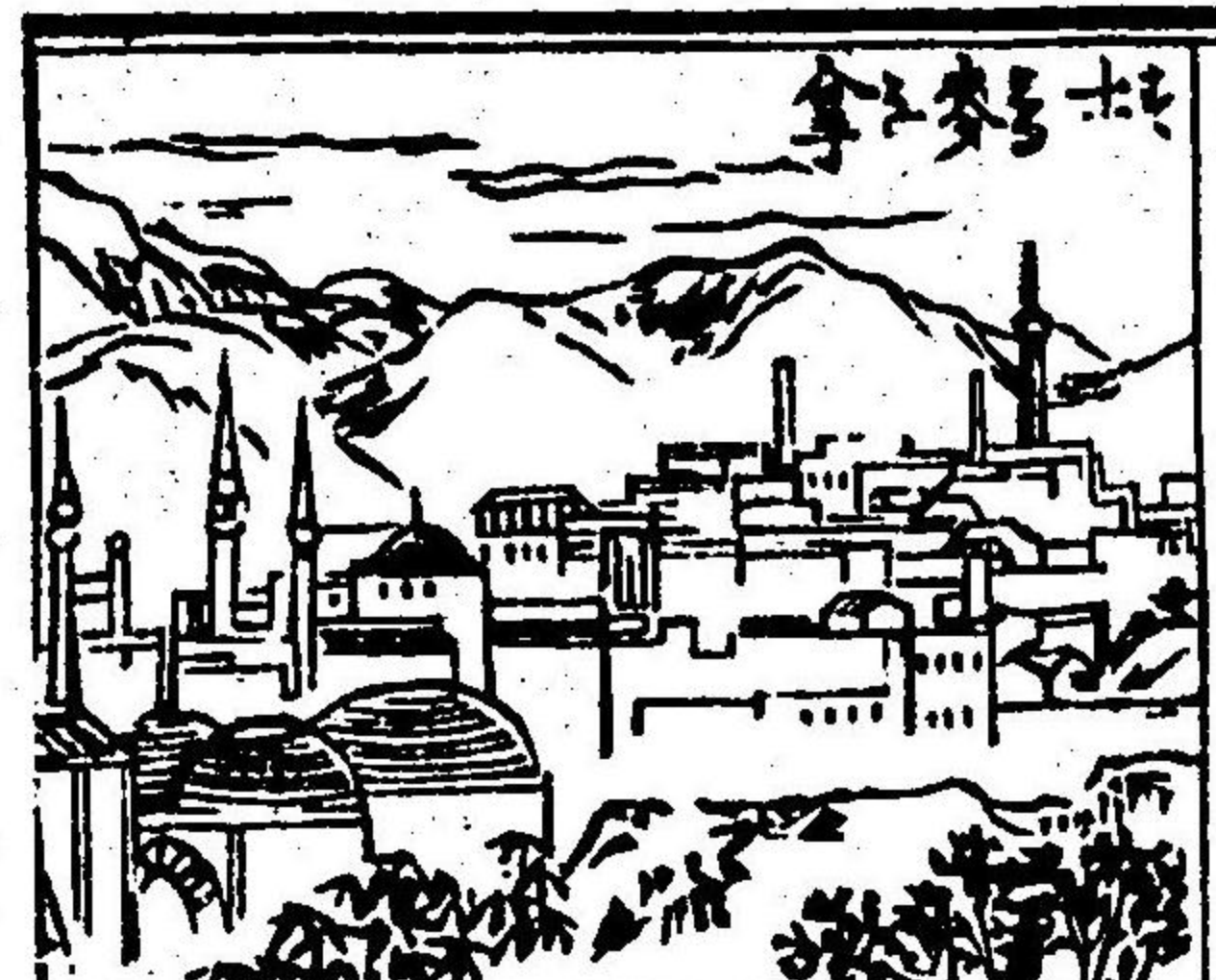
惣て禮厚く、男女衣服小美  
 を盡し、氣象温和、小文學  
 能く、近國是を、  
 む、地方ハ、  
 廣き。土耳其斯坦都ハ、  
 布加利

萬國名所往來



望むくさハ其風景  
 誠小画くが如し  
 ○土耳其斯坦二名  
 と獨立鞋靴とよ  
 所々小廣原の砂漠  
 多く其内小黨を  
 帳幕ハ柵の甚多  
 此國小路駱駝一布加  
 利府の交易運送  
 小の用ゆる駱駝常  
 小三千頭小及ふ

浩罕府繁花盛の所あり裏  
 海の東。加斯比約ハ國小名  
 高き大湖とぞ其間ともり小  
 隔り黒海地中海小梓  
 る地くハ土耳其とて其本國ハ



○亞細亞土耳其ハ藥  
 種木綿煙草ホ多  
 此地ハ都會機人種と云  
 つる者多く邊境ハ帳幕  
 と移遊牧と業し所  
 小轉居るもの多し

歐羅巴爰ハ亞細亞の内なるれハ  
 亞細亞土耳其と号しり繁花  
 の都、士麥拿ハ小亞細亞西部の  
 盛府ゆて南部、叙利亞の  
 繁盛地ハ大馬士革ととめ





○耶路撒冷ハ旧都  
 而て古跡の内不  
 教の祖摩哈麥の遺  
 跡阿曼順の堂宇  
 かり内外悉金銀と  
 ちりむめりり近來迄

より其他、亞爾美尼亞、不利斯  
 底尼、米所波大迷亞、耶路撒冷  
 巴比倫城跡、莫達多、壯嚴美  
 觀と盡し、堂塔及び屬嶋ま  
 て猶見所ぞ多り、北小沙漠

他宗の者を入りしこ  
 此外耶蘇の墳墓  
 等古跡多く、祭日  
 あり、巡拜の者四千人  
 及びふとよ  
 ○亞拉比亞も沙漠の  
 内不遊牧の野民多  
 此地も又駱駝多  
 まる阿曼の海も  
 大なる真珠貝と産  
 まるる夥しく毎

の曠々たる。亞拉比亞國の都城  
 の地ハ麥加麥地拿の二所ありて  
 實ハ繁盛の靈地と云ふ部令  
 の盛府猶多く、黑德斯阿曼納  
 熱、勒也多、亞丁、木斯甲汀と呼て



年六月より九月まで  
 亜拉比亞及び比  
 耳西亞印度の土人  
 集りて是をより人  
 數三万余人におよぶ  
 ○呂宋の煙草と  
 産物の第一は煙草  
 此地の鰐魚より  
 有りて人と書さる  
 こと恐るべし

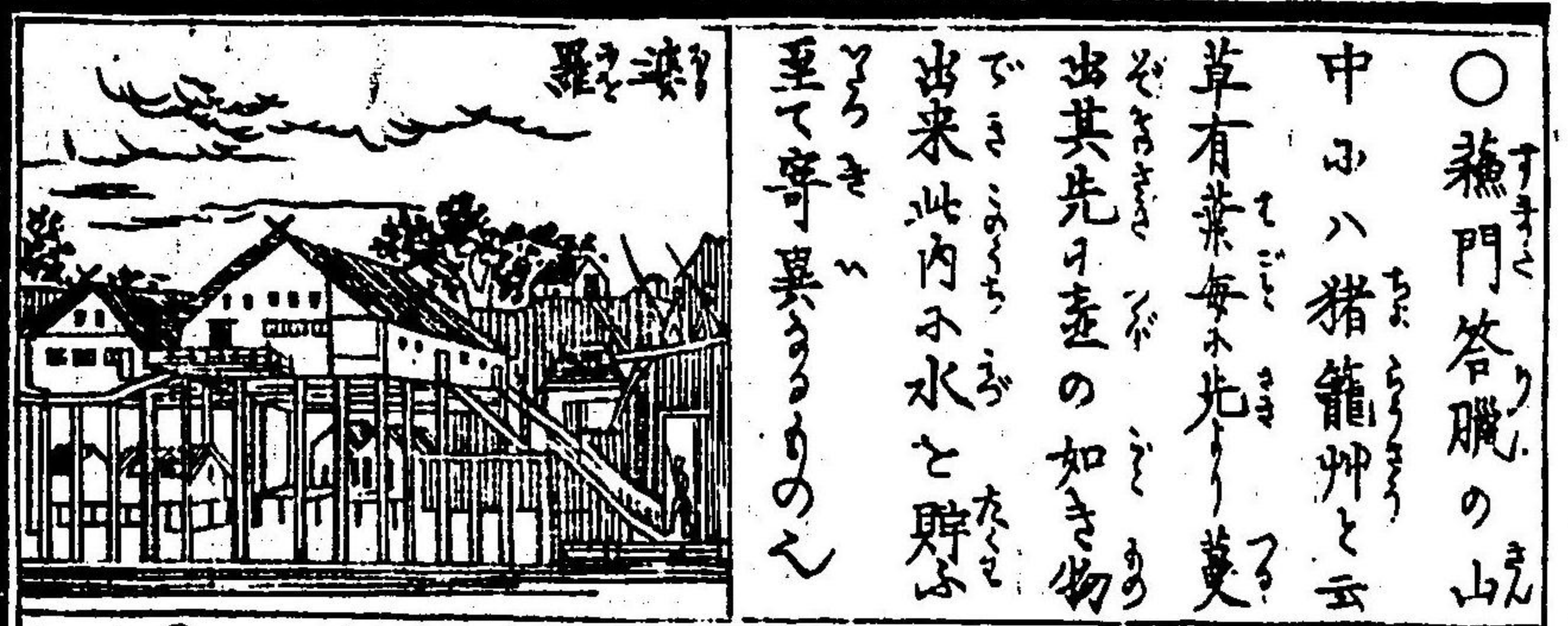
亞丁海印度のつづく洋中の  
 一大嶋は呂宋の地とも賑ひ馬  
 尼刺府は此一島の都あり  
 陸地續の大嶋國瓜哇は習  
 風もやうて都ぎらふ伯帶庇亞



○瓜哇の季候四時  
 とも暑氣つよく  
 日中の旅人も通  
 行しぐさ一晩冷ふ  
 兼て歩行する  
 事あり

都府をともるれ、恣得速啞此  
 處、閑雅の静地、みして干草  
 万木花咲満世界無類の花園とを  
 其西南小連し、蕪門答臘嶋の山  
 多く深林幽谷峻岐、て菘古





○蕪門答臘の山  
 中ハ猪籠州と云  
 草有葉每光ノ如  
 出其先日産の如き物  
 出来此内小水と野  
 至て奇異なりとの  
 魯府巴隣傍いづきも此地の都  
 山と越れば崗甲嶋真  
 金小榮ふ交易場峽牟得啞と  
 名も志々々北小勝と大嶋  
 婆羅國の一世界金山多き土

○婆羅ハ黄金の金  
 山多し又象牙犀  
 角真珠玳瑁と出  
 事務一西北の婆羅  
 河ハ大河なり土人  
 此水上の筏を組上  
 小家を建てて住居  
 するもの多く小舟  
 して往来するなり  
 又此地熱國  
 なる山中の草木

地めて蒲寨岔啞の都の賑  
 ひ漫迫巫準搜吾濶いづきも  
 おとぬ繁昌ハ渡る船路も  
 へし西里伯島の東の方都  
 と号て馬加撒あつちも繁花の



會獸甚多一其肉  
 小如人手足獸  
 り猿小似く頭毛  
 至て長く立て歩行ふ  
 て号つ  
 手土に付く丈四尺程  
 あり獸の内尤人間に  
 近し是と程々ありと  
 類も又此地に極  
 弗来馬とよみ花  
 あり花形五辨ありて

交易小西の馬路古數々の小嶋  
 を合せ一惣名とぞ其外諸島  
 汝かどふまの萬他。安門。義羅  
 。西蘭むふ小。麻里。淪泊國の  
 境は支那海と西里伯海の潮合

花の大き差しと二三  
 一二寸茶色にて肉厚し  
 根も葉も枝もよし諸  
 木の根小者して花を聞  
 美吉利利動



○龍動橋ハ達迷塞  
 河ハ深も二百間余の

より里數も近に遜巴瓦燒山  
 多き嶋國より隣境なる  
 きた北の海英吉利國と聞  
 小の歐羅巴州の名國小て城  
 地の都龍動ハ世界富強の

高國名介生來



石橋より此河下ふ水  
底と堀抜河の手前  
河向ふ(出)道二  
筋あり是と隧道と  
此穴の内と石小  
て組上げ上と丸形塗  
かため昼夜照燈と以  
内と暉し左右小南家  
つらり現然市中ふ  
者其頭の上小大河の

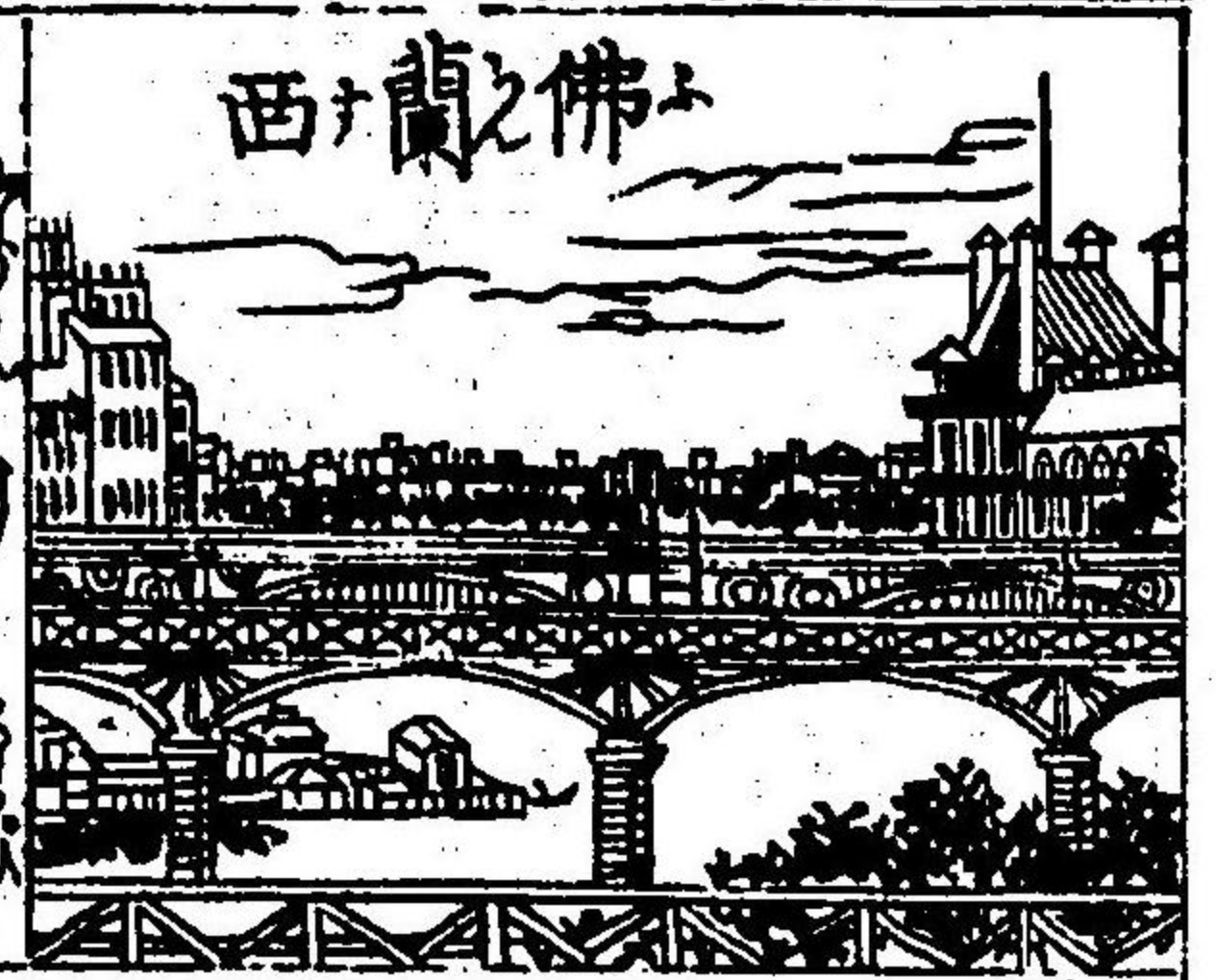
一大都宮殿及び高閣堂塔  
其外人家小至りて詰構言語ふ  
およびろく花麗壯觀善盡し  
美と極めざる所もあり市街の晶  
燈闇小照り晝夜とわづらぬ群



水流ありて和の往來  
まると知らは是今より  
三十九年前ふ成就  
せし石より塞丁  
往年八万國の景地と  
模造せ博物館より

集の繁花繁昌比類ろく塞丁  
往年比水晶宮以丁堡の山水  
勝景愛爾蘭都伯林等其外都  
府の繁盛ハ舉てろそくハ盡さ  
れび水陸ろろ小九里河まり渡





佛蘭西の花美奢多事ハ文中  
小有る如ク市中の  
家屋極めて廣大  
の有り旅店の大  
る小並つてハ一軒の

こバ爰ハ。佛蘭西國豊饒温和  
の大上地士女一般小美服と  
競ハ花麗艷麗極まり多ク歌舞  
遊宴ハ夜と日ふつぎ飲食奢多  
の習風めて世界の富貴翫樂と

家小客と入るは千  
千以上の間敷あて  
間毎小皆美と盡  
ザリ云又食店遊  
戯場の夥し事  
他邦小其類ハ  
七月標と稱するの  
有高さ二十二間頂  
小鑄金の天人と安  
置是ハ三十余年  
前七月の動乱平

實小此地小とめり又巴黎府  
の都とて市街家屋の花  
の歐洲一と稱するも其外  
戯場植物園往來晝夜群と  
繁昌他邦小とてひるぎ近海



治と標きりぬる  
 温正敷捨得しる  
 ハ是も二十間余の圓  
 銅標の上か初代  
 傘破傘の像有  
 ○西班牙ハ高峯  
 佛蘭西より西の  
 西班牙へ至る道高  
 嶺左右ハ展風と  
 立る如く道中  
 至て狭一其内甚

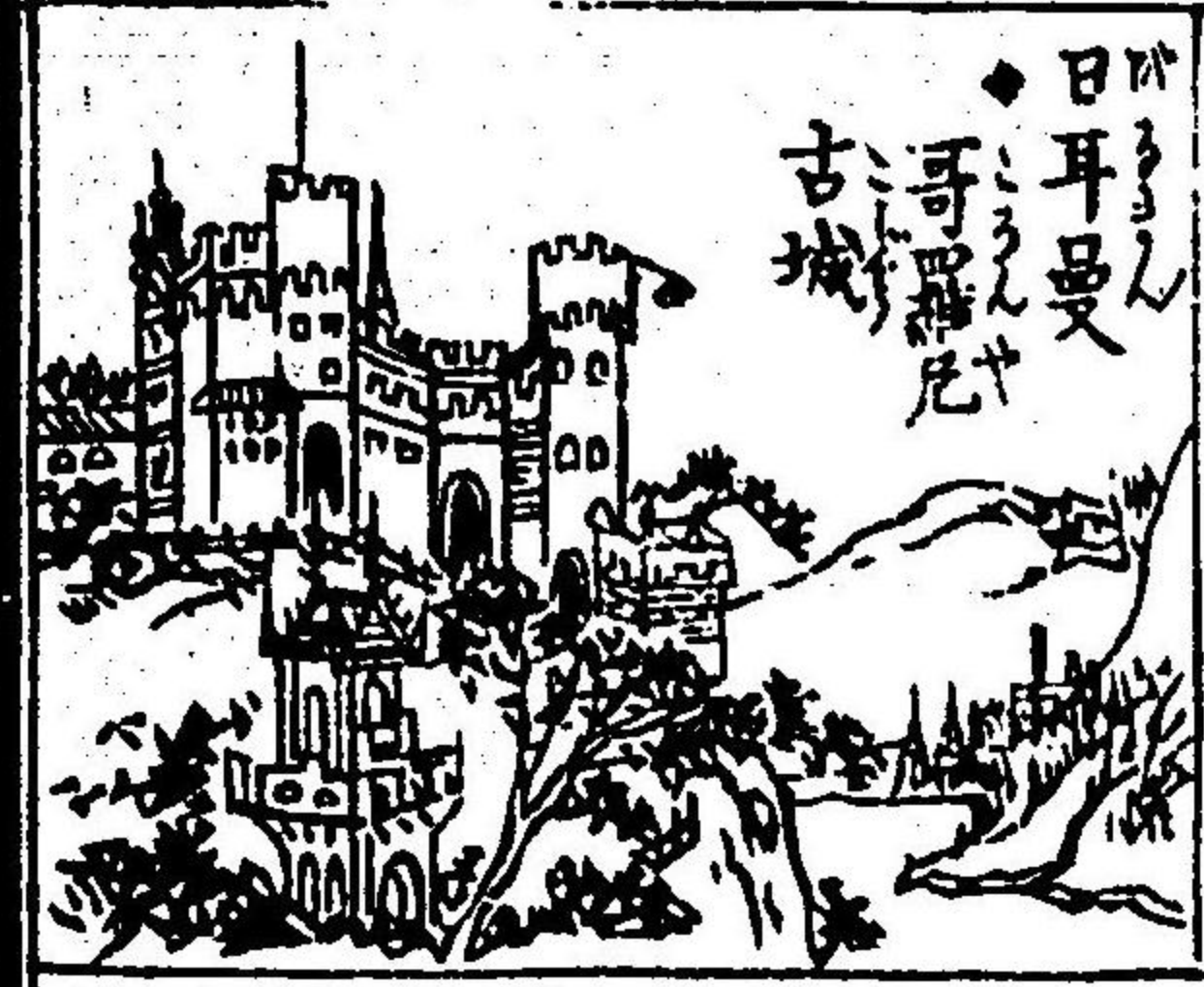
遙の西とみ添へごと。西班牙  
 國爰ハ都と馬德里又巴塞羅の  
 繁昌ハ國の豊饒の志あり  
 顯年徇る獅子殿ハ世ハかくとるを  
 名區とぞ外海より西方の一小



嶺と云ふ西と親其  
 子と傾くび子との  
 親と傾く云不有  
 本由て親もび子也  
 らびと云ふおる  
 土人歌舞と好事甚  
 國ハ葡萄牙都ハ里斯本河波多  
 太古の河邊賑ハ次第小國の繁  
 盛ハ歐羅巴州の中央あり。日耳  
 曼國の其首たる。普魯士の都伯  
 靈ハ繁花の地也



○葡萄牙昔々富強の國めて西班牙と共に初て東洋の海路を開海外小属國多有りといふ。葡萄酒此地名産の第一といふ



哥羅尼の繁盛ハ三千國內第一の都會の地とも賞するあり隣界普壇の間の國薩索尼とて山嶽の風景奇絶の勝地あり繁花の都府と徳停歐洲一の景地

○日耳曼ハ獨逸國と号し歐羅巴の中央に有り日耳曼ハ諸部の總号とて大國なり  
○普魯士伯靈の王宮ハ極て壯麗なり  
て巴郎丁堡の門の傍ハ悉彫刻にて四丈二尺の石の柱と建上小女神駒馬小駕

とらや山の南ハ巴威里國慕尼克ハ名も高き十六間の女神の銅像、瓦敦堡ハ高地にて都ハ斯都徳牙とて繁花さうんの都會とらややがて越ゆく地中

日耳曼の地



銅像有是社觀銅像有是社觀  
 又材的又材的とよふとよふハ  
 遊歩園歌舞場等遊歩園歌舞場等  
 多く其繁花龍動多く其繁花龍動  
 巴黎不續ぐとよ巴黎不續ぐとよ  
 ○德侍の地ハ山川盡德侍の地ハ山川盡  
 秀美ゆて岩石の間秀美ゆて岩石の間  
 小大なる石橋あり其小大なる石橋あり其  
 景尤奇絶あり景尤奇絶あり  
 ○慕尼黑の大銅像慕尼黑の大銅像  
 ハ胎内小螺階有面ハ胎内小螺階有面

海伊太里國の、徇練斯ハ是海伊太里國の、徇練斯ハ是一一  
 國の都とるん昔久國の都とるん昔久一一き國とき國とりり  
 希臘國のとの都と安全教とこそ希臘國のとの都と安全教とこそ  
 号り隣地ハ則土耳其其めて都号り隣地ハ則土耳其其めて都  
 府ハ繁花の、昆牟斯坦歐洲府ハ繁花の、昆牟斯坦歐洲



部小登りて兩眼部小登りて兩眼  
 り遠江と眺望り遠江と眺望  
 ○伊太里ハ文國進伊太里ハ文國進  
 得孟多爾の宮殿甚得孟多爾の宮殿甚  
 美也美也  
 ○瑞西ハ山中の小國也瑞西ハ山中の小國也

亞細亞ハ腓り一習風粗き一亞細亞ハ腓り一習風粗き一  
 大國邦と隔る高山地瑞西國大國邦と隔る高山地瑞西國  
 小、班耳羅の都此地と去こと小、班耳羅の都此地と去こと  
 遠うらび土耳其小近き大國と遠うらび土耳其小近き大國と  
 塊地利と名も高く府城の塊地利と名も高く府城の



特許細示名有

○填地利歐洲五大國の

一より維世納府先得蒙

遺教寺の高塔ハ高

七十七間三三歐羅巴州

第二番の高塔あり

○匈牙利ハ古来獨

立の強國あり

三百余年前より填

地利ハ合併せり此地

金銀銅鉛水銀等産

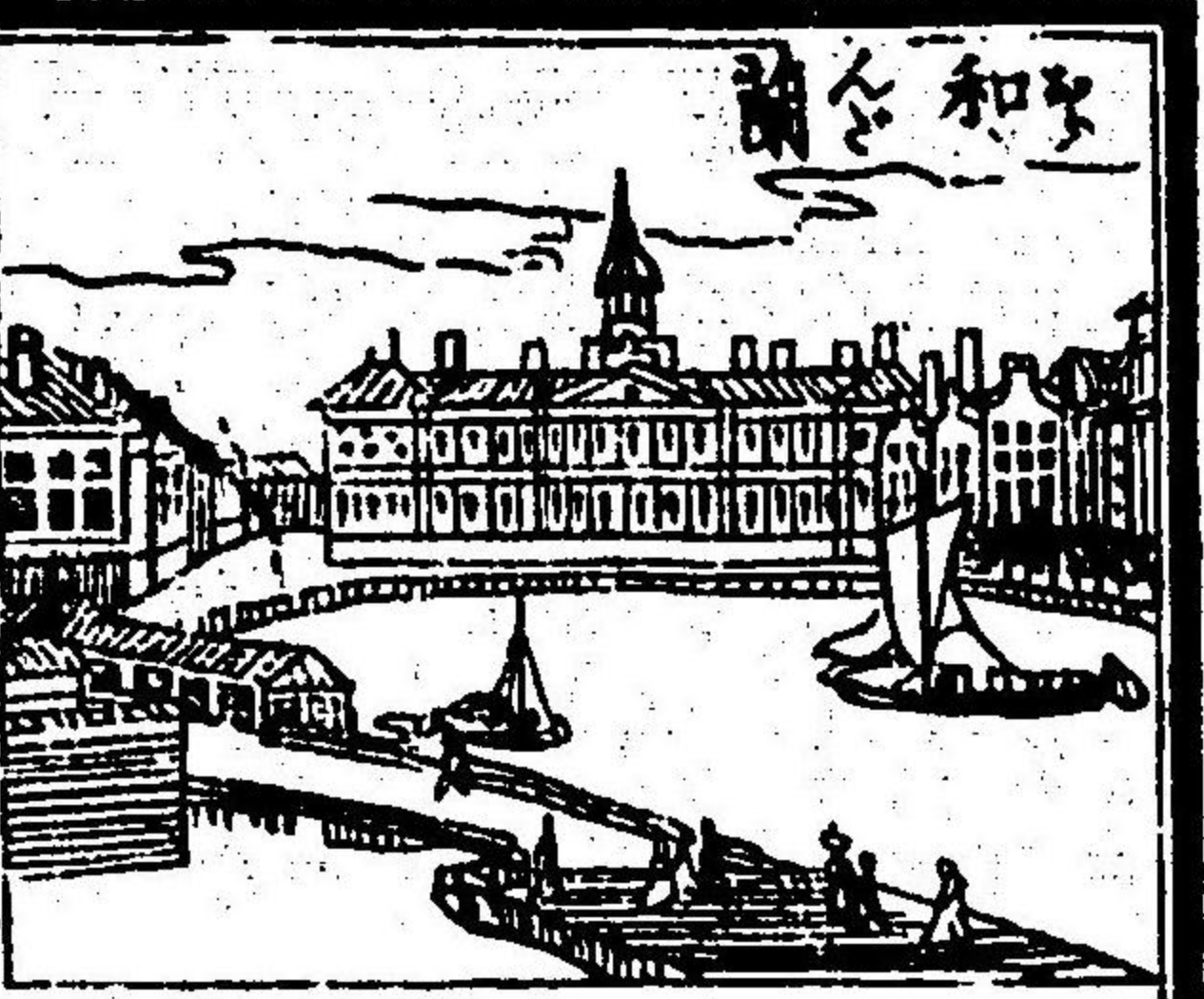
都ハ維也納又皇帝府とも賞

其外この數多く、黙

隣、加拉德斯、音斯不羅東部

小、伯息府、稜卑各何とも繁花

の都、土産の貨物いと



○和蘭ハ地勢平坦

おて山少く低地多

この故小堤と築て

海水と防ぐあり

和蘭の産物ハ砂糖

金剛石火酒毛布麥

多き北ハ名小お北海濱是

和蘭の名國小、海牙ハ城地の

都あり、安特堤、鹿特堤南北西

所の主府おて交易便利の

要地あり、西邊海地の、連國ハ





酒花塩紙麻布烟  
草等より中央坦小  
王宮有國王此府(末  
る時の駐駕殿より内小  
巨大の地球地圖を彫る  
室有細容寄観心眼を養

都と呼で哥卑合給氷州の  
屬嶋小ハ律亞以啞と都  
瑞典ヨハ斯德哥摩。那威ハ  
幾斯底安皆繁盛の都とソ  
發蘭德と云る地ハ蘭土と放

○連國も低地すく  
堤と築海水と防と  
堤切きて人民水は濁  
家屋崩多事夥  
とて四十余年前此  
堤切きて人民水は濁  
とて四十余年前此  
とて四十余年前此

獨立して比利時國と唱へり  
列日近的ハ都して安都厄比不  
魯日ハ此地繁花の二大府あり  
交易自在の湊と以末洲を  
亞細亞全洲と阿非利加州の



詩峡天



○依索得ハ山かく雨  
の降ぬ國より夜降  
る下りてさ本を濁  
し候暖熱してわ  
豊饒の地より産物  
五穀烟草等多し

堺の入江依索得國と稱する

ハ阿非利加一の大国ふる都ハ則

恰義羅府外小英る誇峡

天是當國の寄觀より流水

とやき奈以留河の南小臨温

又此國ハ詩峡天と  
唱りし有共數六

十余所其内大なるハ  
高さ四百八十丈及

ふ是ハ二千年以前ハ  
造立する國王の墓

○臨温ハ依索得  
屬せり

○亞比斯牙ハ獨立  
國なり此地ハ誇太

亞比斯牙の二國の西ど速莫勒

のく小濁らぬ渚衆求港

類する國も最衆伯陸とへて

の海と山允諾協喀の一國を

交易多く繁盛の都と号て



獸とふけりあり  
 其大さ象かひり  
 尤猛くして常  
 幽谷ふ有とふ  
 ○喜望峯ハあり  
 海と印度海の  
 南の方へ突出  
 出等とてあり  
 和蘭領の如く蘭  
 人爰に移り住  
 多うしが本年以前

諾 岔 遼 海 小 む へ 西 の ち て  
 岩 根 の 出 崎 。 喜 望 峯 商 船  
 渡 海 の 碇 泊 場 喜 び 望 む の  
 心 と 其 西 北 小 殊 比 揆 發 天  
 疾 世 の 地 方 何 り 利 比 理 亞 國 ハ



遠 岔 諾 々  
 民 ハ 和 蘭 人 多 一  
 大 小 繁 盛 の 地 也  
 塞 穂 子 号 け 今 ハ  
 領 と 多 一 此 港 繁 盛  
 より 全 英 吉 利

風 習 百 事 調 へ お さ 何 り て  
 人 民 豊 の 國 と 一 や 山 と 谷 と  
 列 り 一 上 下 二 所 の 勒 牟 尼 國  
 此 地 ハ 元 来 獅 子 多 一 實 小 恐 一  
 づ き 界 と き 一 群 峯 山 岳 一



○諸名遠ハ九諸協  
喀の都府より此國  
六十年以前歐羅  
巴各國と條約と  
結び文化大開け  
武備盛なり  
其後國中乱と威  
先大小衰へる不  
年又く同化あり  
むき世一く往時  
後一と

あり。標刺温の國の北大畧  
同トき。詮牙亞良南西の地ハ  
遠き北阿非利加の國ハ  
巴耳貝利國うち越く帝  
國一部。莫絡古國賑ふ



○莫絡古の且什爾  
就拂拉誰の額小臨  
西班牙小向ひる

都且什爾府風光景地の  
溢岸也八重路の汐や紅海  
近きりの登監波國都  
尼斯巴爾加も一様小都もぎ  
國とらや山亦南へ比塞



○登監波ハ東と常  
の食料  
○都尼斯ハ農業小  
くよく五穀  
○罽阿比也ハ人民教  
人情甚



羊國邦の境のともと小拔。念  
秦羅國の都あり隣地を  
最拉原。罽阿比也野外泉々  
き大砂漠ハ阿非利加一と兼て  
聞く廣原越へく西北の海小

○馬徳拉ハ小嶋  
葡萄酒出  
此地ハ氣候  
おして四時  
○罽活利也ハ時候大  
畧馬徳拉ニ同  
るなり今日本  
りやといふ小島  
此地より渡り  
仍て國名と呼  
活利也鳥といふ

望！馬徳拉國々の界の  
罽活利也ハ都也と多き名所  
にて。往爾秦の嶋も程近！進多  
歴傘と聞へハ世も名高き  
傘破崙々小遠流の嶋ぞ



○進多歴年ハ島國

之愛不拿破也論

匹夫よりつて佛蘭

西の帝王とより

強勢無類の人

今より六十年前

英吉利の大將輝臨

顛と戦ひ軍利あり

て敗北おわび終

お此嶋へもなされ

ふる生涯を終り

とよ洋中實ふ其果多く一千

四百年前ふ初て見出せり一大

嶋比亞米利加と号てより追く

ゆりきあめりり

ゆりきあめりり

ゆりきあめりり

ゆりきあめりり

ゆりきあめりり

ゆりきあめりり

ゆりきあめりり

極寒の雪國とぞ其南東ハ克

奈達國此地の都府と阿教

巴拾とて殷繁昌繁花の都也

流水よどま惣鹵連の河邊ふ

近き其客科國ましく河中の



克奈達

○克奈達ハ亞米利加州の内ぞ近來餘鉄亦盛の地と云ふて交易も甚さるんやて文學も大に開けり



○亞米利加洲の初  
日本明應年間  
伊太里國の古倫  
子とつるのあつ  
航海の術と發明  
其志不九人あ  
東南の方ハ世界  
人倫繁生  
未他小人住  
土地ありと知  
必西方海外あり地

一島ハ莫得利牙と号する交易  
盛の繁昌地ちうき邊小豊  
州多く。徇町比論。敗逐布爾  
其外真峽。波斯坦其中央と  
就鳥震噸亞米利加一の大都會



方極めて西の  
と明あして西  
王小實理と説  
と泊て西大洋  
日小果して陸  
直の上陸する

樓臺高閣類々として結構余  
國小類ひあそ北小隔る、那猶爾  
科交易繁盛廣大より陸地  
るく小海岸ハ喀誇尼也る金  
山小黄金花咲富國とるや山



其斯墨



點檢もる小土地廣き  
石小土人更ふりく國の  
北部のソコソコ穴居を  
るものも是開闢以  
末の亞米利加人  
只山坂とかけり獸と

又山小金の蔓金銀余る墨斯  
其ハ世界の富の其元りや  
うて渡らん南の島。巴牙土  
索巫呵。古巴鳩爰の都ハ港瓦  
那とて世小りてまや巻烟草

殺て肉と食し其皮  
と着ては泥とさるの  
か別小作業者を  
るものも是開闢以  
て渾沌無知の世界  
とハ是より歐羅巴  
の諸より進んま  
小移りて新地を開  
諸州小回し一  
界とより一よりそ  
は地と合衆國と

是此國の名産より陸小草木  
生繁り民の手業のいと田  
と南亞米利加列國ハ。傍那嘛  
の地方いと廣く空地の廣野山  
坂の内地ハ。混羅比也山の







政を定めり往震頓と  
して大統領不任と  
是れを先んずるん  
是れ日本安永年と  
ありし事あり

○近年合衆國の政  
府より七百二十五万の



國とくや山の名則安天須山  
その麓あり。沈倫國ハ百物豊  
饒文學ハ進む富強の國とす  
麓の北の班勒受ハ五穀金銀  
夥して國富榮ふる所とくや

金と出して此地と  
残らば買取當時合  
衆國の領分とす  
今是と北亞米利加南  
亞米利加と二大洲ハ  
分ちて亞細亞洲歐羅  
巴州ア非利加州と旧  
世界と北亞米利加  
洲南亞米利加州と  
新世界とす  
○喀誇尼也の金山世

實ハ天下一樣ハ世界の繁榮  
今此時万代不窮の文明幼學  
万国諸州國々の其名所の數  
々を大凡爰ハ書とぐむ  
万国名所往來 終



界第一なり此の合衆  
國の内金銀銅鉄の  
出る山甚多  
○墨斯其も金山甚  
多其内銀最多く  
して諸國へ通用銀  
出す事務も日本に  
洋銀弗と唱ふもの  
ハ皆此墨斯其より  
出る所の銀なり  
五大洲畧記終

青陽堂黒川孝昌編輯

官許

明治七年甲戌仲殊發兌

大澤堂藏版



池之端仲町

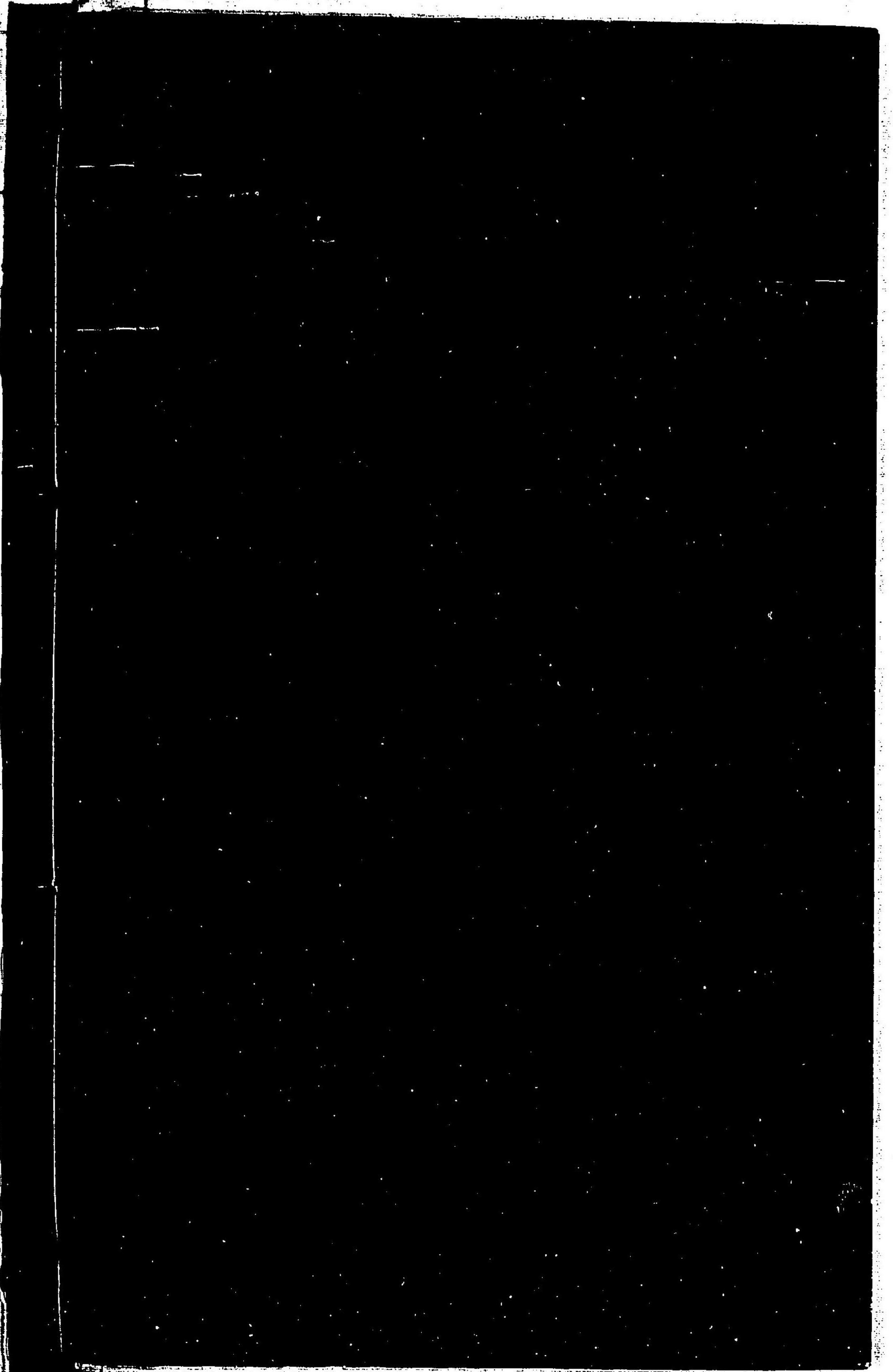
伊勢屋利兵衛

東京書肆

馬喰町貳丁目

山口屋藤兵衛







特31

575

◎ 亞細亞 同界記 國々之圖	◎ 歐羅巴州 同界記 國々之圖	◎ 阿非利加洲 同界記 國々之圖	◎ 北亞利加洲 同界記 國々之圖	◎ 南亞利加洲 同界記 國々之圖	◎ 以止
----------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------

五	二	三
九	三	四
册	號	架

本

萬國名所往來

全卷册

022322-000-5

特31-575

万国名所往來

黒川 孝昌/編

M7

ADA-0836





明治七年甲戌中



黒川孝昌編輯

# 萬國名所往來

官許 大澤堂藏版



國勢盛せいかかして天下普時あまのあまの  
 往來繁さか花日小益月小榮はなひのちがよ  
 地名となうう知しららで過あるる人ひとの實まこと小  
 有あるるふふ于こ茲こゝ萬國名所ばんこくめいじょ

萬國名所往來